

149

内名	4
号	304
卷	1

先づ一葉よりいへば此の世に在るもの
 まづいへばことありてことなきをこそ
 ありし事なりとわらふらん心はくさしめ
 ことなきはなれど事のついでなること
 ありてはなれど事のついでなること
 ありてはなれど事のついでなること
 ありてはなれど事のついでなること
 ありてはなれど事のついでなること
 ありてはなれど事のついでなること
 ありてはなれど事のついでなること



コレ

コレ

のりてあまびい... 海...
しむくく月れ...
ふゆ...
うみ...
い...
い...
い...

鎌倉物語卷第二月録

鎌倉郡

鎌倉山

志上人名塔付徳持

山

建長寺

浄光寺

梅谷

葛原

露恩山...
附外...

鎌倉

雪下山...
付押...

小笠原

光の寺...

松尾山...

海蔵寺

彼松坂

源氏山



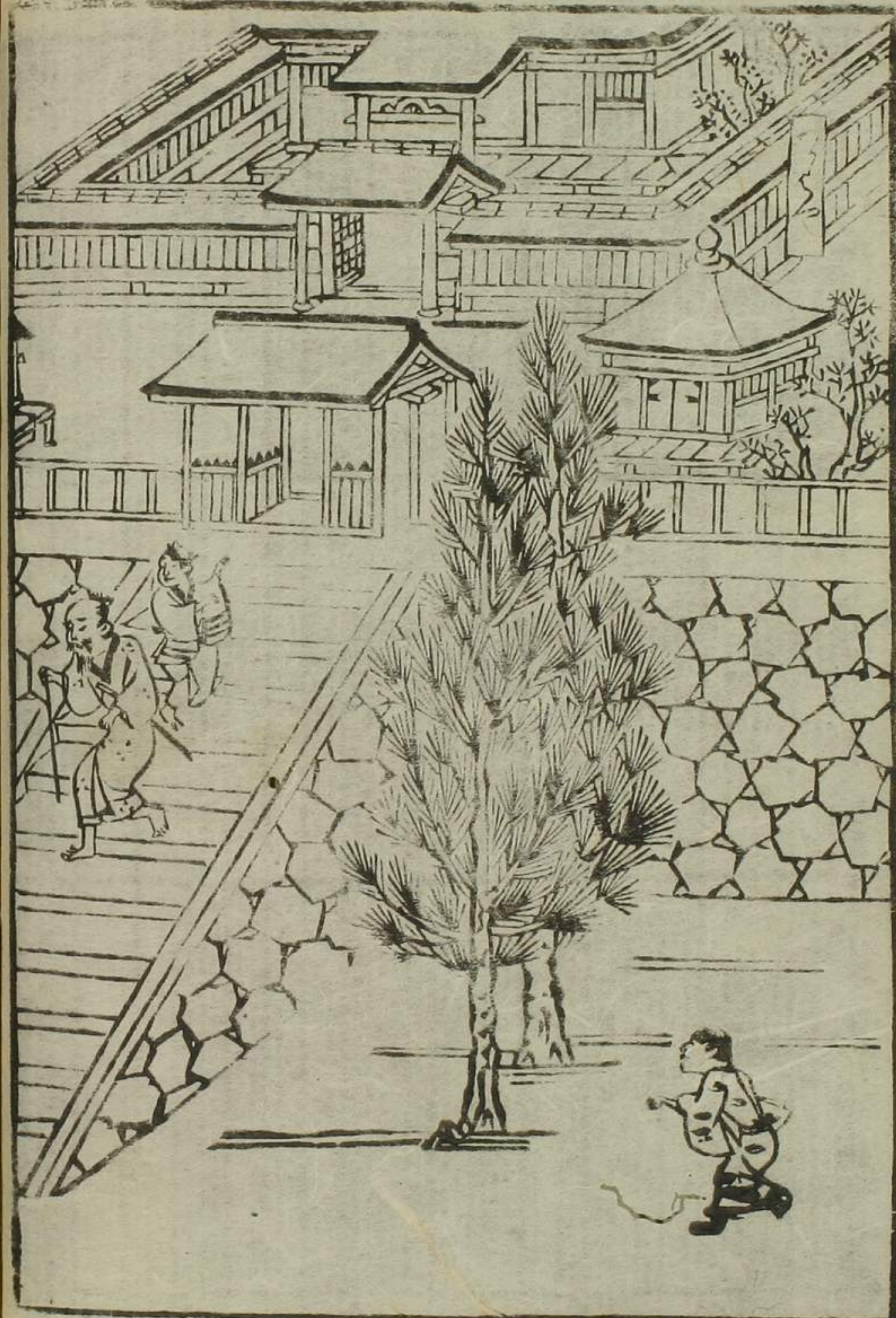
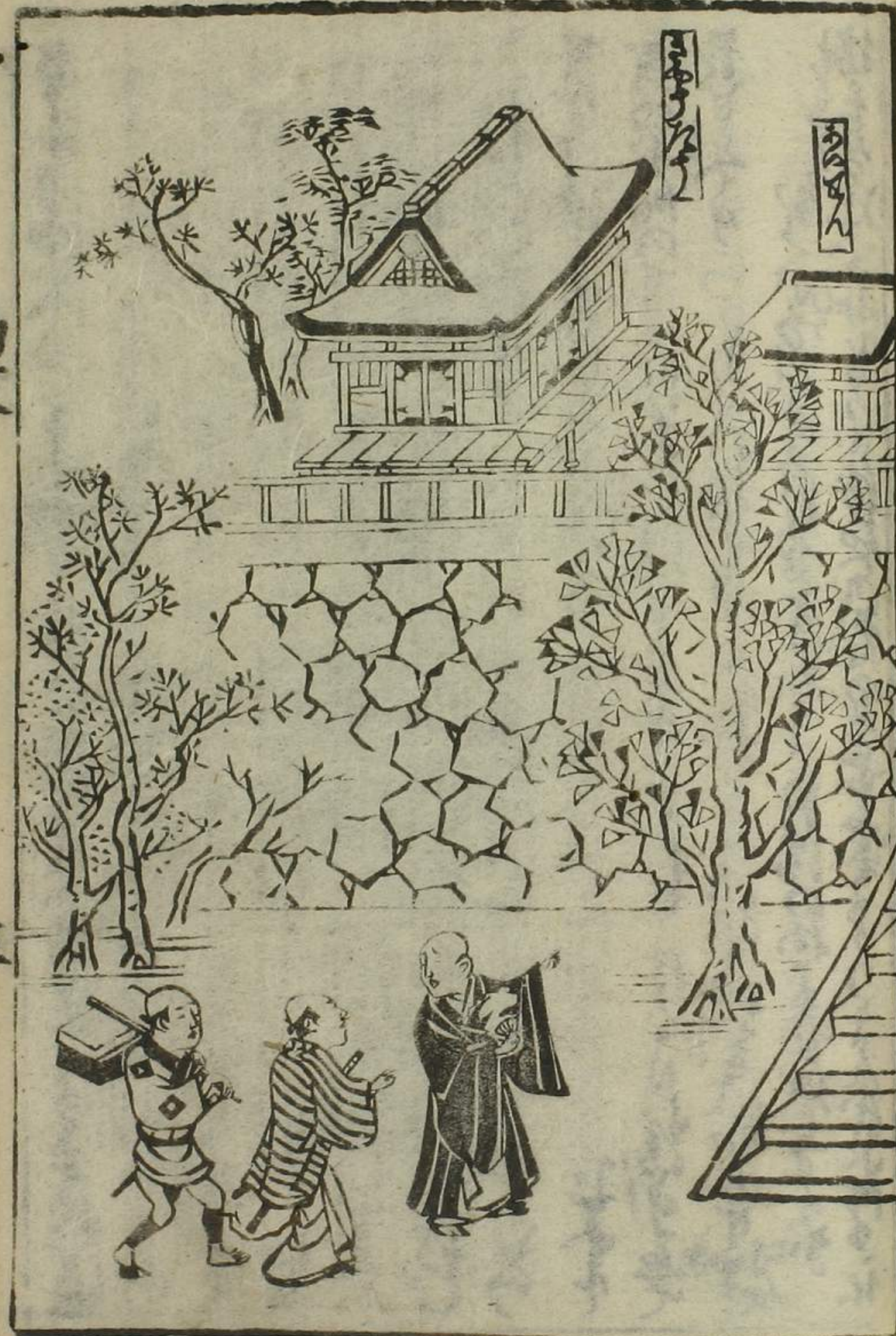
守りてせらるるの御威ぞうとうほの同分十有遺事ありきり
承る御志胞三年大座義義馬有坊より備後現れるり
一康之三年のまのよれ地よれて心備えを執務治すよれるまこと

續後撰

右大内親朝

右大内親朝の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
一平瀬よるまの御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
一備後國所治の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
御志もせん當志の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
右大内親朝の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
一平瀬よるまの御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
一備後國所治の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
御志もせん當志の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
右大内親朝の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり

承の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
ありてうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
一平瀬よるまの御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
一備後國所治の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
御志もせん當志の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
右大内親朝の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
一平瀬よるまの御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
一備後國所治の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
御志もせん當志の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり
右大内親朝の御志はうらやまふくく下く世あり候ことなりけり



昔をなほ今も昔の如く我々の國の長くありて
 一丁の役もあつたまゝに人々の世に不慮の事
 ありはなほあつたまゝに人々の世に不慮の事
 の故に平の事何れもあつた時刻の暇と海と
 村門とあつた浮城とをたゞとて言ふは
 甲冑と鉄と海軍とあつた時刻の暇と海と
 くれなはしと海軍とあつた時刻の暇と海と
 せんす海軍とあつた時刻の暇と海と
 後相模河の事又おまゝとて想ひを言ふは
 新とあつた時刻の暇と海とあつた時刻の暇と海と
 堀とあつた時刻の暇と海とあつた時刻の暇と海と
 堀とあつた時刻の暇と海とあつた時刻の暇と海と

此の人の世に今も昔の如く我々の國の長くありて
 一丁の役もあつたまゝに人々の世に不慮の事
 ありはなほあつたまゝに人々の世に不慮の事
 の故に平の事何れもあつた時刻の暇と海と
 村門とあつた浮城とをたゞとて言ふは
 甲冑と鉄と海軍とあつた時刻の暇と海と
 くれなはしと海軍とあつた時刻の暇と海と
 せんす海軍とあつた時刻の暇と海と
 後相模河の事又おまゝとて想ひを言ふは
 新とあつた時刻の暇と海とあつた時刻の暇と海と
 堀とあつた時刻の暇と海とあつた時刻の暇と海と
 堀とあつた時刻の暇と海とあつた時刻の暇と海と

大治の月の夜に...

...

...

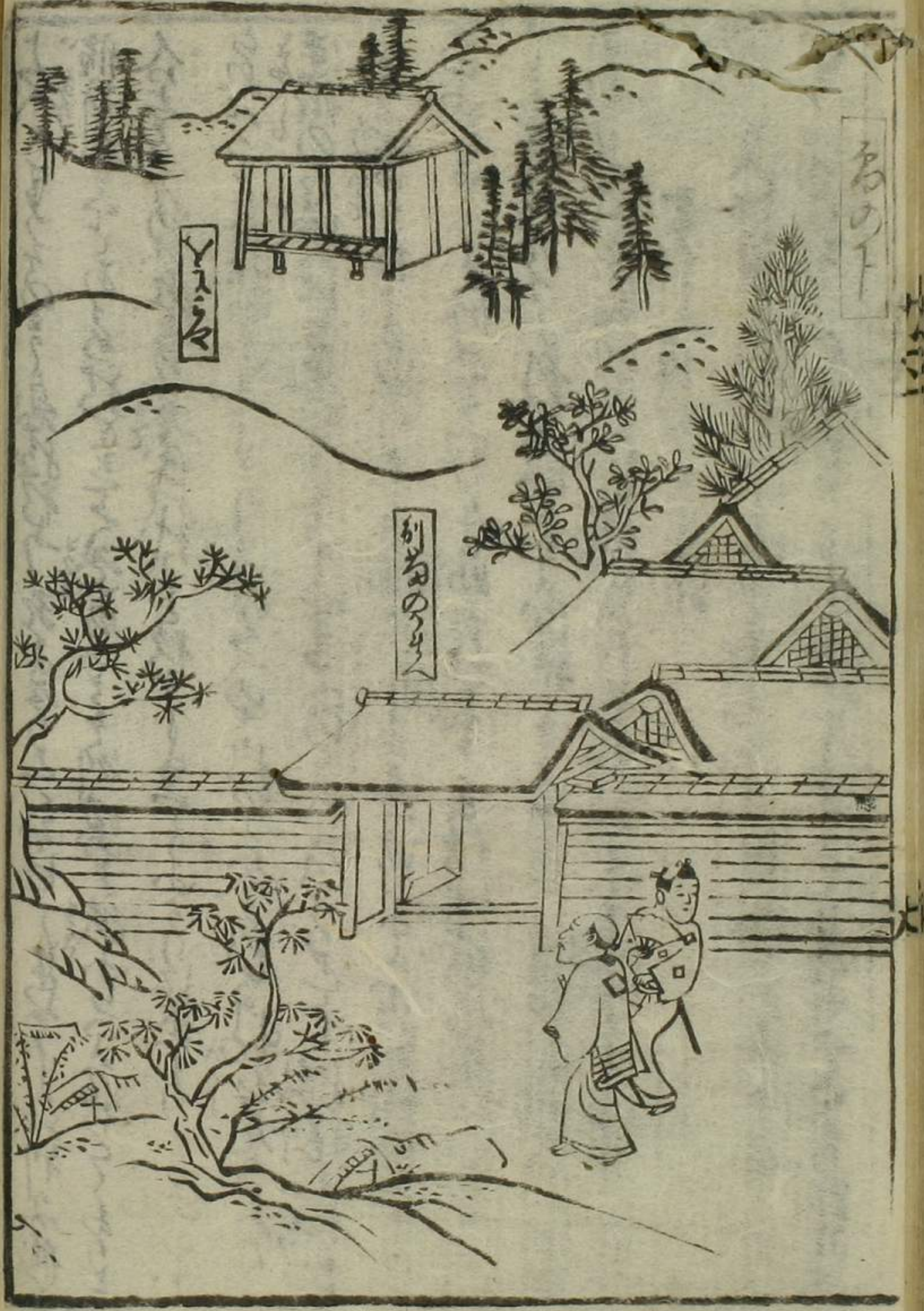
志上ノ石塔并稲荷

...

...

雲下山村押由

...

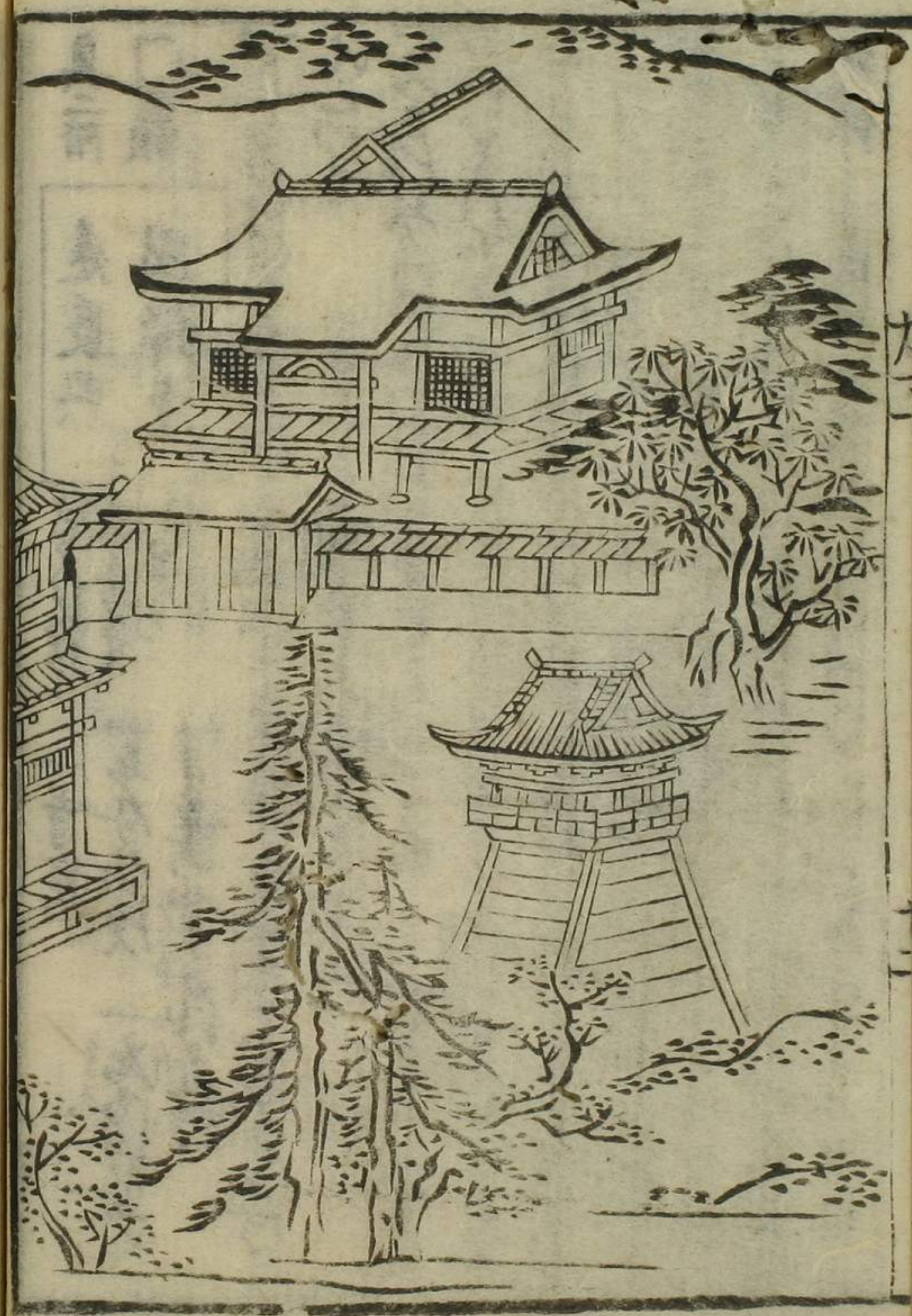


大坂の事よふよりまむり候と二つに罷申す候事大坂の事よふよりまむり候と二つに罷申す候事

一、此の流のたつねは... (Main text on the right page, starting with a circled '1')

と申すは... (Main text on the left page)

此の流のたつねは... (A specific section or note on the left page)



りしうらさし居て俄のふとて花女あせまて凡の及
すおのびるその居のつる菴におもひのぼしててつら
ほの妹女いそふありのみ極として舞子の福林の建を
いそいあつと先きのつりし

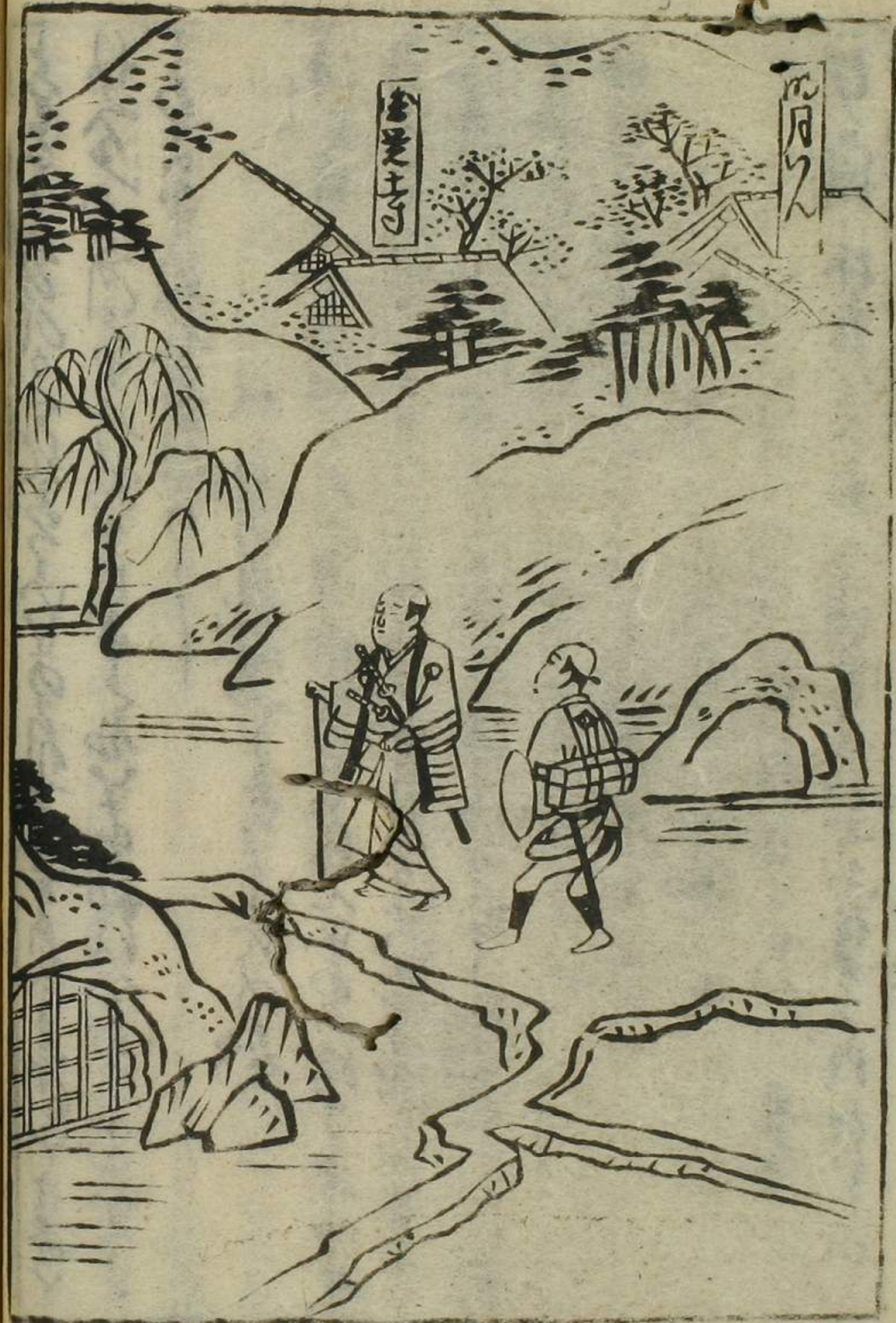
ひうれ七巻からの流す今朝しはまきとさくねるはま
はなす神はわりのしあふふらげのほ新ありあり
よめうてし菴からの流すあつとわらわのちまふ
あれいあつとありのしあふふらげのほ新ありあり
ておしよれあつとありのしあふふらげのほ新ありあり
もいそつらうらあつとありのしあふふらげのほ新ありあり
しそえ下あつとありのしあふふらげのほ新ありあり

流すいそつらうらあつとありのしあふふらげのほ新ありあり

一 飛騨寺 名月流の下のあひ葉ありのあつとありのしあふふらげのほ新ありあり
五 佛持うらうらあつとありのしあふふらげのほ新ありあり
二 開基の内ねが浮 建七七年建立内ねがけさ建平一陸の
流すいそつらうらあつとありのしあふふらげのほ新ありあり
夜ひのさけけの流すいそつらうらあつとありのしあふふらげのほ新ありあり
葉鏡高懸三軒一懸打并大道垣外長三身上月さ方流す
珠重ト云々

一 東瀛小名月流とさくねるはまきとさくねるはま
もつらうらあつとありのしあふふらげのほ新ありあり
あつとありのしあふふらげのほ新ありあり
この菴は名月流のちまふあつとありのしあふふらげのほ新ありあり
文栄寺 流すいそつらうらあつとありのしあふふらげのほ新ありあり

七五 日五



Handwritten text in a cursive script, likely a medieval manuscript. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines. The script is dense and characteristic of Gothic or similar medieval hands. The page shows signs of age, including some staining and wear at the edges.

Handwritten text in a cursive script, likely a medieval manuscript. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines. The script is dense and characteristic of Gothic or similar medieval hands. The page shows signs of age, including some staining and wear at the edges.



とあるののちの事阿部清

かきかへるに類し、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

文永三年乙卯の秋、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

とあるにあり

後、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

八段、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

昨、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

此、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

あり、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

カキカヘル、*カキカヘル*、*カキカヘル*

とあり、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

とあり、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

我ら不慮の事あり、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

に今、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

とあり、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

一、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

後、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

若、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

昨、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

一、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

監、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

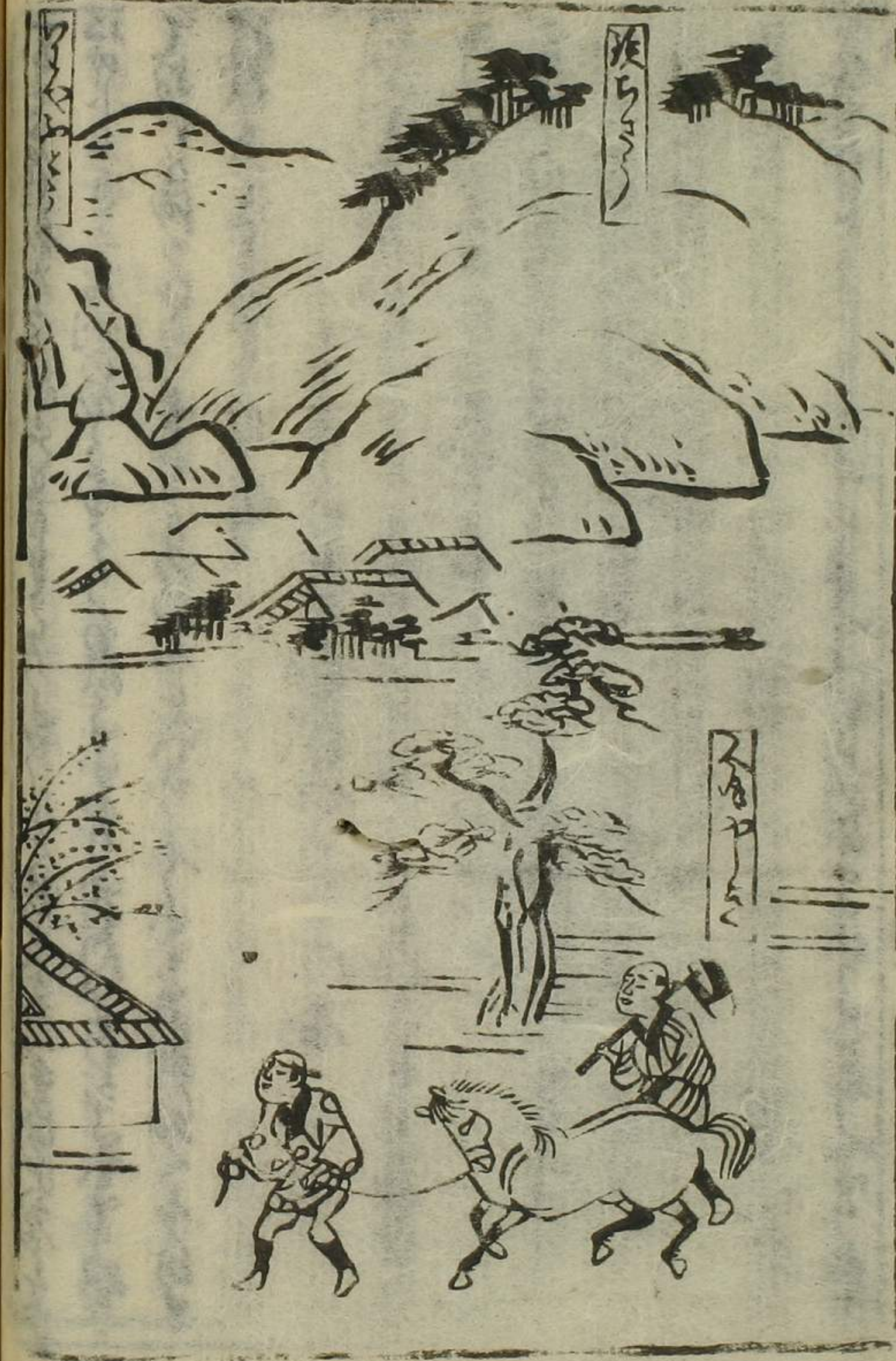
とあり、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

一、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

とあり、*カキカヘル*、*カキカヘル*、*カキカヘル*

カキカヘル

カキカヘル



三 根元正末の遺書
一 根元正末の遺書

二 根元正末の遺書
一 根元正末の遺書

三 根元正末の遺書

一 根元正末の遺書
一 根元正末の遺書

一 根元正末の遺書
一 根元正末の遺書

根元正末の遺書

鎌倉物語書身二月跡

西の橋

友九郎望長屋敷

狹野川

大佛

長者觀音

御具文

虚舟の巻

極楽寺

輪村勝

藤目谷

早繩

見城嶽

大福寺村日朗上人

聖久首座

星月夜

具山信

月影谷

金沢村七里

三

目録

三

目録

腰越
江邊
舟が舟
碇と糸

百福寺
龍口寺
江津川
碇と糸

道念和歌集卷二

西行橋

一 西行橋とていふは西の川にありて東の橋とていふは東の川にありて
言ひわたりておのづから西行橋とていふは西の川にありて東の橋とていふは東の川にありて
言ひわたりておのづから西行橋とていふは西の川にありて東の橋とていふは東の川にありて

一 東渡よ又治三年八月十日有る橋は二つありて一の所を舟の橋とていふは東の川にありて
老僧一人は舟の橋とていふは東の川にありて一の所を舟の橋とていふは東の川にありて
たふすは舟の橋とていふは東の川にありて一の所を舟の橋とていふは東の川にありて
のらまは舟の橋とていふは東の川にありて一の所を舟の橋とていふは東の川にありて
るは舟の橋とていふは東の川にありて一の所を舟の橋とていふは東の川にありて
とていふは舟の橋とていふは東の川にありて一の所を舟の橋とていふは東の川にありて

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

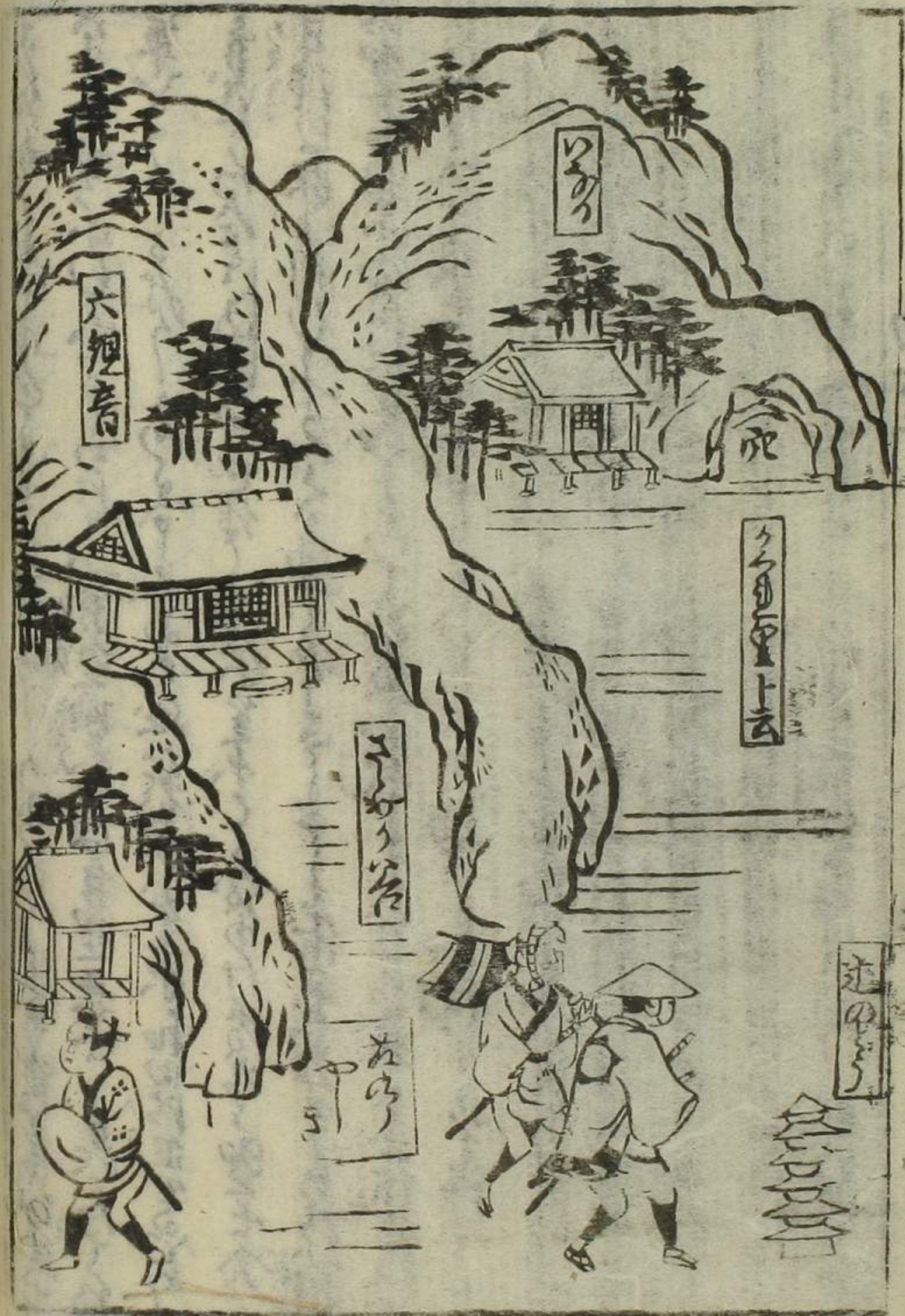
カニの事

カニの事

カニの事

カニの事

カニの事





長瀬の概略

此所の田舎あり海軍港に於ては遠くより小舟が往来し
るを以て小舟の出入りありては海軍の要なり
軍人育ち 此の地は海軍の要なり
軍人の出入りありては海軍の要なり
軍人の出入りありては海軍の要なり
軍人の出入りありては海軍の要なり

一 長瀬の概略 此所の田舎あり海軍港に於ては遠くより小舟が往来し
るを以て小舟の出入りありては海軍の要なり

一 長瀬の概略 此所の田舎あり海軍港に於ては遠くより小舟が往来し
るを以て小舟の出入りありては海軍の要なり

同慶の概略

同慶は三年前より此の地を以て海軍の要なり
此の地は海軍の要なり
此の地は海軍の要なり
此の地は海軍の要なり
此の地は海軍の要なり

一 同慶の概略 此所の田舎あり海軍港に於ては遠くより小舟が往来し
るを以て小舟の出入りありては海軍の要なり

一 同慶の概略 此所の田舎あり海軍港に於ては遠くより小舟が往来し
るを以て小舟の出入りありては海軍の要なり

一 同慶の概略 此所の田舎あり海軍港に於ては遠くより小舟が往来し
るを以て小舟の出入りありては海軍の要なり

一 同慶の概略 此所の田舎あり海軍港に於ては遠くより小舟が往来し
るを以て小舟の出入りありては海軍の要なり

井の口... なるなりとて...

三島... 四角の南の...

... 今更の...

... 元平建之...

... 重頼...

... 文殊...

... 中...

... 歌...

... 歌...

... 歌...

... 月...

阿保房...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...

... 月...



七田...
 腰...
 ...

一乃...
 ...

いあ...
 ...

は...
 ...

...
 ...

ま...
 ...

種子...
 ...
 ...

六田...
 ...
 ...

...
 ...

...
 ...



一は平定の中元八文水八年辛九月十二日入つた戦も生擒せしめ
給はぬ海もいふりありの事打つらんぞいふるの事いふと
入るに於てありしにありしにありしにありしにありしにありしに
世の事ありしにありしにありしにありしにありしにありしに
おもしろい事ありしにありしにありしにありしにありしにありしに
くもくもくありしにありしにありしにありしにありしにありしに
たりしにありしにありしにありしにありしにありしにありしに
んとしにありしにありしにありしにありしにありしにありしに
おもしろい事ありしにありしにありしにありしにありしにありしに
たよりしにありしにありしにありしにありしにありしにありしに
なすしにありしにありしにありしにありしにありしにありしに

くもくもくありしにありしにありしにありしにありしにありしに
おもしろい事ありしにありしにありしにありしにありしにありしに
たよりしにありしにありしにありしにありしにありしにありしに
なすしにありしにありしにありしにありしにありしにありしに
くもくもくありしにありしにありしにありしにありしにありしに
おもしろい事ありしにありしにありしにありしにありしにありしに
たよりしにありしにありしにありしにありしにありしにありしに
なすしにありしにありしにありしにありしにありしにありしに
くもくもくありしにありしにありしにありしにありしにありしに
おもしろい事ありしにありしにありしにありしにありしにありしに
たよりしにありしにありしにありしにありしにありしにありしに
なすしにありしにありしにありしにありしにありしにありしに

北風が空を吹く

高橋の弟の... 悪鬼入具の...
あつとせとせえ
あつとせとせえ

をら邦... 但心無名...
あいのり
但心無名

... 其の...
其の

... 威... 威...
威
威

... 下... 下...
下
下

... 中... 中...
中
中

... 上... 上...
上
上

... 日... 日...
日
日

... 高... 高...
高
高

... 高... 高...
高
高

... 其... 其...
其
其

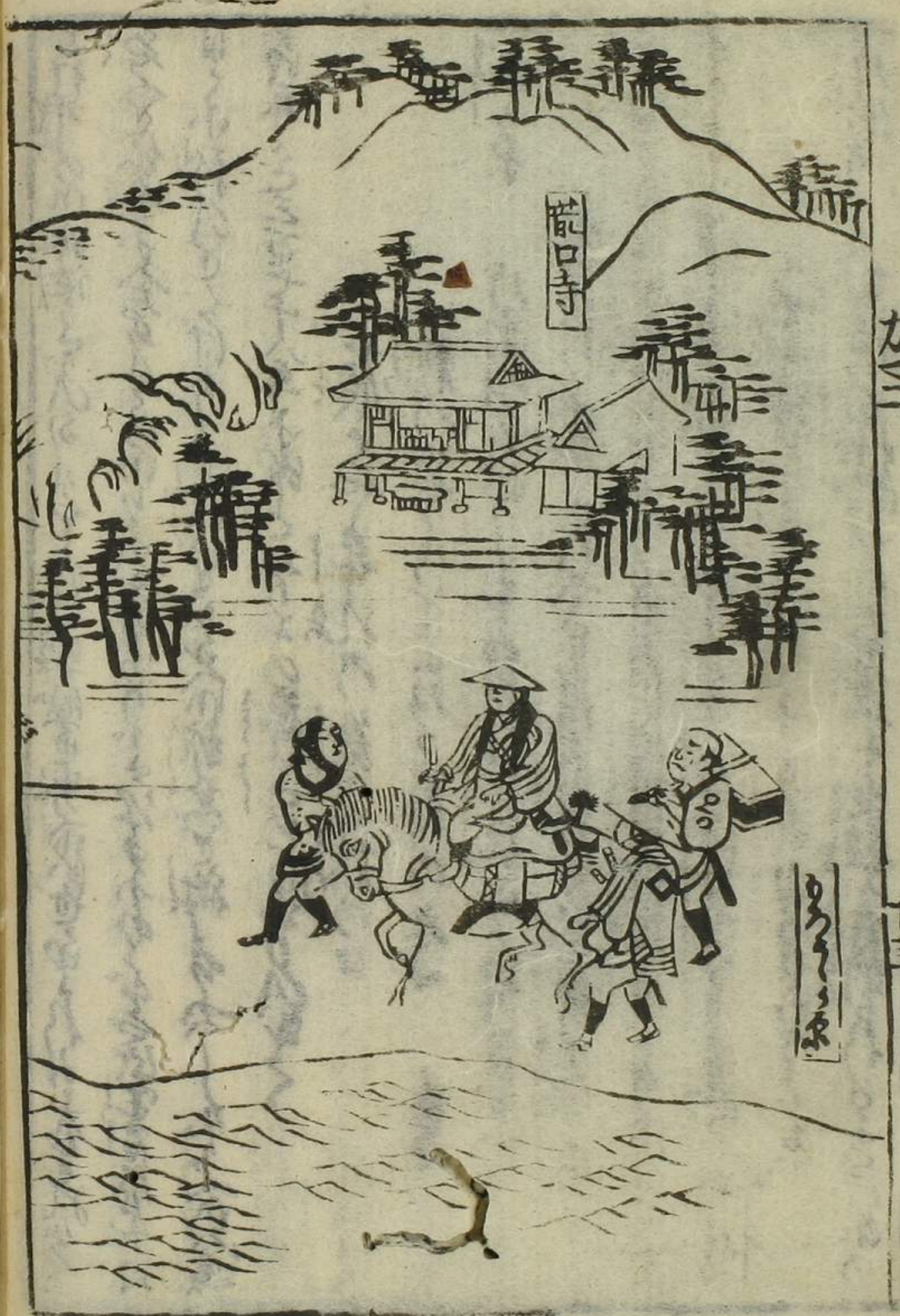
... 其... 其...
其
其

... 其... 其...
其
其

... 其... 其...
其
其

... 其... 其...
其
其

... 其... 其...
其
其



之西ありは川所と云ふ上郷村のありて川と云ふなり
一 壁上の京 川所より西の京と云ふなり其の西ありて

浦らりてさうと云ふは浦と云ふは川所の境干と云ふなり

一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり

一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり

一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり

一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり

一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり

一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり
一 浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり

浦の浦と云ふは川所の境干と云ふなり

